

2017年4月15日(土) 13:00～16:00

日本とドイツの空襲記憶

～日独の空襲記憶の比較と今後について～

柳原 伸洋さん (ドイツ現代史・日独空襲研究者)



ドレスデン爆撃 (Bombing of Dresden) は、第二次世界大戦終盤の1945年2月13日から15日にかけて連合国軍 (イギリス空軍およびアメリカ陸軍航空軍) によって行われた、ドイツ東部の都市、ドレスデンへの無差別爆撃。4度におよぶ空襲にのべ1300機の重爆撃機が参加し、合計3900トンの爆弾が投下された。この爆撃によりドレスデンの街の85%が破壊され、2万5000人とも15万人とも言われる一般市民が死亡した。

(……ウィキペディアから)

★場所；愛恵ビル 3F (公益財団法人 愛恵福祉支援財団) 東京都北区中里 2-6-1
→ JR山手線駒込駅 (東口) から徒歩2分・または地下鉄南北線駒込駅から徒歩7分

★資料代；1,000円 (当日会場で集めます)

★会場と資料準備の関係で、事前に申込をお願いします。

★申込先；竹内 良男
電話=090-2166-8611
アドレス=qq2g2vdd@vanilla.ocn.ne.jp



＜予告＞ 第25回 テーマ(仮題) 習熟すべき憲法

2017年5月13日(土) 13:00～16:00

西川 重則さん (平和遺族会全国連絡会代表)

「戦争は国会から始まる」として続ける国会傍聴は18年に及ぶ。

＜予告＞ 第26回 テーマ(仮題) 原爆と芸術表現

2017年5月20日(土) 13:00～16:00

田中 勝さん (京都造形芸術大学准教授)

写真と絵画とを融合させた実験的な芸術表現は原爆の何を伝えるのか？